

定員
50名

受講料
1,000円

Bコース [実習] 光合成計測チャンバデータの活用

オンライン開講

zoomを使用したリアルタイム講義で
どなたでも・どこでも ライブで授業に参加できます！
※録画した物を後日オンデマンドで聴講可能(参加登録者限定・期間
限定。申込期間内に受付された方のみ対応。)

【主催】 一般社団法人日本施設園芸協会
【事務局】 愛媛大学植物工場研究センター
【概要】 愛媛大学植物工場研究センターでは、太陽光利用型植物工場の生産性向上を目的として、SPA(Speaking Plant Approach) 技術*を中心とした様々な研究・技術開発を行っています。本プログラムでは、「SPA技術を駆使した栽培管理・環境制御」を実践できる技術者の育成を行います。Bコースでは、少人数での講義と実習を通じて様々な計測技術を習得できます。
*SPA：各種センサを用いて植物生体情報を計測して生育状態を診断し、その診断結果に基づいて適切な栽培管理および環境制御を行うというものです。

2023.12/27 [水] 13:00~14:30
(受付開始12:50~)

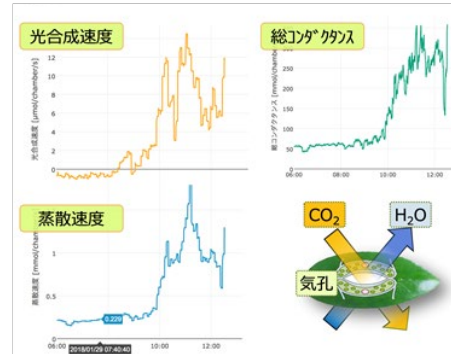
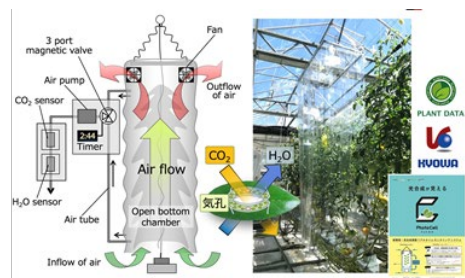
| 講師 | 科目・内容 |
|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 高山 弘太郎 愛媛大学 豊橋技術科学大学 | 光合成の最大化は、施設園芸における環境制御の主目的です。当センターが開発した光合成計測チャンバは、生産現場における作物個体群の光合成をリアルタイムモニタリングできるため、光合成促進の現状把握ツールとして活用が拡大しています。本講義では、Aコース発展編HA-3（計測の仕組み、生産現場導入方法、取得データ概要）の内容の復習と、得られたデータを用いた光合成機能の解析を行います。 キーワード：光-光合成曲線、光飽和、ランダムフォレスト（機械学習）、Python、Google Colaboratory、トマト・キュウリ・イチゴの実測データ ※Aコース発展編HA-3を受講されていない方もご参加いただけます。 |
| 磯山 侑里 豊橋技術科学大学 | |

zoomを初めてご利用になる方へ

ネットワーク環境によりzoomへ接続できない場合がございます。zoom公式サイトにて無料で接続テストがお試しいただけます。ご受講までに接続テスト（動作確認）をしていただく事を強くおすすめいたします。 <https://zoom.us/test>

《問い合わせ》

愛媛大学植物工場研究センター 松山市樽味3-5-7 (089-946-9901)
事務担当：竹村・赤松・間宮 E-mail:zinzai@agr.ehime-u.ac.jp



解析対象期間の日積算日射量と日積算光合成量の変化



申込方法 締切：12/25(金)正午

- ・参加申込フォームより、お申し込みください。折り返し、受講料のお振り込み方法をメールにてご案内いたします。お振り込みの確認が取れましたら受付完了メールを送付いたします。講義前日までに、講義資料とweb受講URLのご連絡をいたします。
- ・オンデマンド配信ではGoogleのサービスを利用いたします。オンデマンド配信を希望される場合は申込み時にGoogleアカウントが必要となります。ご不明な点は、最下段の問い合わせ先までご連絡ください。

参加申込みフォーム

<https://receipt.agr.ehime-u.ac.jp/~kensyub/mpmailec/form.cgi>

